

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 26 日

事業所名 キッズルーム トマト

保護者等数(児童数)59 回収数41 割合69.5%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	0	0	2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28	1	0	4	送迎の際今日あったことなど、適切に伝えられていない。	迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29	0	0	4		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	33	0	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25	6	1	1	月間のプログラム表があると助かります。	多くの方に満足していただけるよう日々の状況を見て活動内容を検討しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	9	3	13	特になくても良い。	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	1	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32	1	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	3	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	5	10	13	無くても良いと思います。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	1	0	4	保護者から対応についてこちらから聞くことが有り、説明が不十分で後日代表から聞くと言ったことがあった。	迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	1	0	0	保護者、子供の意思。情報伝達？ちゃんと出来てますか？	定期的な面談の他、ご質問や面談のご希望があれば随時対応いたしますのでお声がけください。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	3	2	3	実施したプログラム、行事の写真を張りつけた会報(月間)など有ったら良いなあと思います。	季刊誌を発行しております。行事の写真等はその都度お渡しさせていただきます。
14 個人情報に十分注意しているか	30	0	0	3			
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	5	1	10		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	6	1	16		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	30	3	0	0	トラブルも有り、楽しみにしていると良いと思う。	より楽しんでいただけるよう工夫し今後の活動を行っていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	31	2	0	0	いつもありがとうございます。自立を促す支援をもう少し欲しい。クッキングもそうだが、お金の使い方や公共交通機関(電車、バスの乗り方)を使って出かけたり社会への適応を促すようにしてほしい。満足している「はい」と云いたいところでしたが、不安があり「2」にしました。	今後も自立を促すプログラムを検討してまいります。お気づきの点がございましたらお申し付けください。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。